

TANIGO

丹後普及センターだより

第30号

(令和元年8月発行)

〒627-8570

京都府京丹後市峰山町丹波855
京都府丹後広域振興局農林商工部

丹後農業改良普及センター

電話0772-62-4308

FAX0772-62-5894

丹後普及センター

検索



丹後全域の生産者を対象とした現地講習会を開催

おいしい京野菜「えびいも」の産地拡大中です

丹後地域は、京都府内で2番目に大きな「えびいも」産地で、京丹後市（丹後町、弥栄町、久美浜町）と与謝野町で栽培されています。近年、「丹後からは、品質の良いえびいもが出荷されている」と実需者の高評価を受けており、今年は、新たな生産者9戸を加えた32戸、約250アールで栽培が行われています。

6月20日に、丹後全域の生産者を対象とした現地講習会を、京丹後市久美浜町で開催しました。生産者同士で、作業内容について活発な情報交換が行われ、有意義な講習会となりました。また、作業の軽労化を目指し、土入れの回数や量を変えての栽培試験や労働時間の把握などを、生産者と協力して行っています。今後、試験結果を踏まえた技術提案を予定しています。

～知ろう、守ろう、考えよう、みんなの人権～



若手農家の「おいしいお米づくり」を支援しています



■それぞれの調査田を巡回し、意見交換



■生育経過や連絡等はSNSで共有



■調査田のお米は試食して比較

「丹後産コシヒカリの名声を高めたい」、「自分の米の品質がどれくらいのものか試したい」という思いをもつ地域の若手稲作農家グループの活動を支援しています。

昨年度は、メンバー自身のアイデアを基に課題を検討し、根を健全に育てて登熟向上を図る栽培方法の実証を4か所で行ったほか、丹後農業研究所の協力により勉強会を開催しました。また、実証ほのお米の品質評価と自身の位置確認のため、全国の米コンテストや「京のプレミアム米コンテスト」に、延べ13点を出品しました。

初年度は、残念ながら入賞等の成績は得られませんでした。品質データを上位入賞者と比較・検討し、全国レベルを目指すための具体的な目標設定ができました。

「このままでは終われない」とメンバーの思いは熱く、今年度は実証内容にさらに検討を加え、ほ場数も増やしてチャレンジしています。

これらを始め、普及センターでは、丹後米改良協会と一体となって、栽培管理特報の発行や良食味米共励会の開催など、丹後産コシヒカリ「特A」の獲得に向けた活動を行っています。



第3回「京のプレミアム米コンテスト」を開催します。

ふるってご参加ください！

募集対象者：おいしいお米づくりに取り組む府内の農業者及び組織

対象品種：令和元年産のコシヒカリ、キヌヒカリ、ヒノヒカリのいずれかの単一品種とし、ブレンドしたものは不可とする。出品は1品種1点以内、1農業者(組織)につき2点以内とする。

出品の申込み：原則として、インターネット申込みとします。
申込方法の詳細は、京都府ホームページで確認してください。
<http://www.pref.kyoto.jp/nosan/contest.html>

募集期間：令和元年 8月1日(木)～ 8月31日(土)

問い合わせ先：京都府農林水産部農産課 京の米・豆・保険担当
TEL:(075)414-4953 FAX:(075)414-4974



「園芸ハウス台風対策マニュアル」 ご活用ください

平成30年は7月豪雨以降、多くの台風が上陸し、京都府全体で32億円に迫る農業被害が発生しました。特に、7月豪雨ではほ場冠水や土砂流入、9月4日の台風21号ではパイプハウス被害が多発し、昨年の被害総数は2,752棟(うち全壊・大破796棟)と非常に多くなりました。

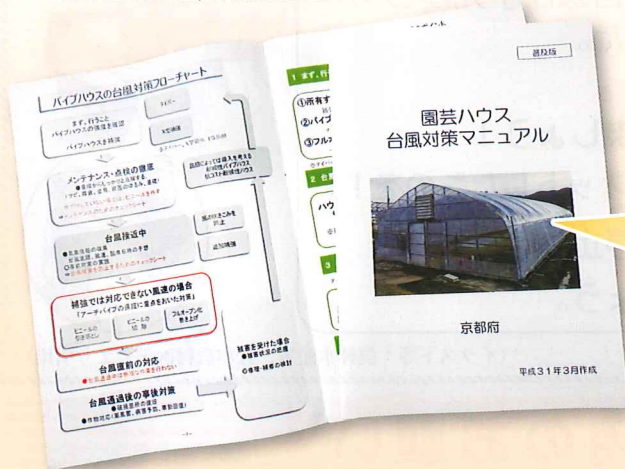


新たな「台風対策マニュアル」を作成

昨年の気象災害を受けて京都府では、専門家(農業・食品産業技術総合研究機構、京都大学防災研究所、京都地方気象台など)と府から成る対策チームを設置し、被害に遭ったパイプハウスの実態調査や倒壊要因解析を行うとともに、被害の未然防止に向けた「台風対策マニュアル」を作成しました(写真)。

パイプハウスを所有されている農業者の皆様には、6月以降、順次お配りしてありますが、まだお手元がない方は、丹後農業改良普及センター(電話:0772-62-4308)までお問い合わせください。

また、京都府農産課ホームページでも、PDFファイルで公開しています。



「台風対策マニュアル」の主な内容

- 園芸ハウス台風対策のポイント
- 強風による被害パターンと補強方法
- 暴風警報発令時の対応
- 台風被害に備えるチェックリスト
- 園芸施設共済の紹介 など

気象情報の入手

- テレビ・ラジオ・インターネット等の天気予報で、気象情報を入手し、事前準備をしっかりと行いましょう。
- 「京都府防災・防犯情報メール配信システム」で気象情報を配信しています。
anzen@k-anshin.pref.kyoto.jpに空メールを送り、返信メールに記載のURLで、必要な設定をお願いします。
- 「京都府河川防災情報」(雨量、河川水位)が、NHK(dボタンで表示)やインターネットで閲覧できます。
- 台風通過中に作業したり、出歩くのは危険です。人命優先で、事前に対策しておきましょう。



農作業事故にご注意を!!

これからの時期は、コンバインやトラクターなど農業機械を使う頻度が増えますので、農作業事故に十分注意しましょう。丹後管内でも昨年度、コンバインや籾乾燥機による骨折事故が起こっています。過去の事例を参考に十分注意した上で作業しましょう。

事例
1

ほ場の隅の刈取で、前・後進を繰り返している間に、畦を乗り越えてしまい、転落し打撲した。

! こまめに後方や周囲の状況を確認しましょう!



事例
2

オペレーターがコンバイン付近に補助員がいることに気づかず発進して、補助員が下敷きになった。

- ! 機械の死角に注意! こまめに周囲の確認を!
- ! 機械作動時の合図をあらかじめ決め、全員に徹底!



事例
3

手こぎ作業や詰まった藁の除去中に、目線が手元から離れ、搬送チェーンに手が巻き込まれた。

- ! 目線を離さず、稲を確実に押し出しましょう!
- ! 手袋をしない。(※手袋装着の場合、フィットしたものを!)
- ! 点検整備や清掃作業ではエンジンを停止しましょう!
- ! 正しい作業手順で点検等を行いましょう。



(イラスト等：農林水産省、日本農村医学会より引用)

農薬の適正使用のお願い

使用前に適用表をよく読み、以下の使用基準を必ず守りましょう!

1. 適用作物名
2. 使用量及び希釈倍数(使用液量)
3. 使用時期
4. 成分総使用回数



飛散(ドリフト)を防止しましょう!

- 風の状況を確認し、飛散の恐れがある場合は中止又は延期する。
- トラブル防止のため、散布液はなるべく、隣接作物(他農家のほ場を含む)にも登録された農薬を、その作物の使用時期(収穫前日数以前)に使用する。

毒劇物の取扱い

- ✓ 毒劇物は、その他のものと区別して保管し、毒物には **毒物**、劇物には **劇物** と表示する。
- ✓ 保管場所は、盗難防止のため、また高齢者や小児が手を触れないように施錠する。
- ✓ 定期的に、購入・使用量の結果と在庫が一致していることを確認する。
- ✓ 誤飲防止のため、飲食物等他の容器に移し換えてはいけなない。

※この広報誌は再生紙を使用しています。

～築いていこう! 男女共同参画～

